

報告事項 エ

鳥取県立まなびの森学園校章案について

鳥取県立まなびの森学園校章案について、別紙のとおり報告します。

令和5年5月17日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

鳥取県立まなびの森学園校章案について

1 鳥取県立まなびの森学園校章案



【応募者の校章案に込めた思い・制作意図】

鳥取県立夜間中学まなびの森学園の鳥取の英字頭文字「t（小文字）」と大きく羽ばたく「飛鳥」、口にくわえた葉と「3つの学びの森」をモチーフに、自然豊かな学校周辺と夜間中学の「中」を配し、“学ぶ・つながる・社会の中で生きる” 3つのよろこびを表し、互いに励まし合い勉学・スポーツ・鳥取の歴史や伝統・文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信をイメージしています。学園生一人ひとりの将来への“大きな夢や希望”を目標に鳥取県内はもとより世界中で活動・活躍し、更なる飛翔・発展・向上する県立「まなびの森学園」の輝く姿と未来像を力強くシンボライズしています。

【選考理由】

まなびの森学園のメインコンセプト「いろとりどりに」を鳥で表現し、サブコンセプト「学ぶ・つながる・社会の中で生きる」3つのよろこびを口にくわえた葉と中心部の森の形で表現している。また、鳥取の頭文字「t」をあしらっており、鳥取の学校であることを示している。全体的に丸みを帯びたデザインがまなびの森学園の目指す温かく優しい学校のイメージと一致している。

<デザイン修正意見>（4月定例教育委員会委員協議会より）

- ・「中」の文字を「学」にした方がより良いのではないか。
- ・ローマ字を日本語に変更してはどうか。





※デザイン修正意見を踏まえ、制作者と協議して、形状等を整える。

2 今後のスケジュール

5月～6月 校章案リデザイン

7月 定例教育委員会でリデザインした校章を議決

3 校章案最終候補一覧

原案	応募者の校章案に込めた思い・制作意図
	<p>鳥とそれを囲む森をイメージした。中央はとり、ひとりひとりが自分の色にそまれるように、という思いを込めて白色にした。まわりは「森」という字をくずして、木や、葉っぱにみえるようにした。森は学校、木々は先生、そのどちらもが校章に描けるようにした。そして、学校や先生があたたかく生徒=とりを見守り、自分の力ではばたいていく様子を描いた。まなびの森学園の<u>生徒それぞれが自分の色ではばたける</u>ようにという願いを込めている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・このデザインは、学校を「森」に、先生方を「木々」に、学校に集う生徒達を、「鳥」に見立てました。全体を花の形に構成しました。 ・先生の温かいご指導のもと、<u>生徒達が勉強に励み、共に手を取り合い、成長していただきたい</u>という想いを込めました。
	<p>まなびの森学園という校名から、森を図案化して描きました。更に森を目指して大きく羽ばたく鳥を図案化して描きました。生徒の皆さんが、<u>希望の翼を羽ばたかせまなび合い、夢に向かって前進して</u>いってほしいという思いを込めました。</p>
	<p>鳥取県立まなびの森学園の校名や学名コンセプトからイメージし学校を森、先生や生徒を木々や「鳥」に例えている点をグラフィック化し、鳥のロゴをメインに、学園コンセプト「いろとりどり」に意味を重ねて<u>鳥の羽が”色とりどり”</u>に表現されており、ここには、先生含め生徒達の多様な個性や夢をカラフルな1枚1枚の「葉っぱ」＝「羽」で表現しデザインしております。</p>